

〈東京小諸会信条〉  
 本会は、東京都及びその周辺に  
 在住する小諸市出身者とその関係  
 者をもって組織し、会員相互の親  
 睦を厚くし、その向上と郷土の発  
 展並びに社会文化に貢献する。



第37号  
 発行日 平成25年10月26日  
 編集・発行 東京小諸会  
 〒184-0014  
 東京都小金井市貫井南町1-4-14  
 小山洋之介気付  
 東京小諸会実行委員会

# 平成二十五年度 東京小諸会総会・懇親会を迎えて

東京小諸会 会長 小山 洋之介

会員の皆様ご多用のなか東京小諸会  
 総会・懇親会にご参加くださり誠に有  
 難うございました。

今年も小諸市からは柳田剛彦市長様  
 はじめ、山岸喜昭長野県議会議長様、  
 別府福雄市議会議長様、香坂勝商工会  
 議所会頭様、大西崇弘観光協会会長様並  
 びにご関係の大勢の方々にご参会頂き  
 厚く御礼申し上げます。

新しい五十年のスタートにあたって

東京小諸会は昭和三十八(一九六三)  
 年、時の参議院議員小山邦太郎氏の発  
 案によって設立され、その設立総会は、  
 同年三月二日参議院議員会館で参加者  
 八十七名をもって行われ、初代会長に  
 小山邦太郎氏を選出して発足しました。  
 爾来、歴代の会長・役員をはじめ多く  
 の先輩方のご尽力により現在は五百余  
 名の会員を擁して、お蔭様で今年五十  
 一回目の総会を迎えることが出来まし  
 た。現在副会長としてご尽力頂いてい  
 る市川源太郎さんは、その設立総会の  
 際、総務担当の副会長としてご活躍さ  
 れ、それ以来五十年に亘り会の発展に

ご尽力されて居られることを、併せて  
 ご紹介します。

この様に諸先輩によって築かれてき  
 た当会は、今年新しい五十年を目指し  
 てスタートする節目の年にあたり、故  
 郷小諸の先人の知恵を見習って、東京  
 小諸会の更なる発展を会員の皆さんと  
 共に図りたいと考えます。

先人の知恵とは、昨年この欄でご紹  
 介した明治二十四年に創立された「小  
 諸郷友会」の設立趣旨であります。明  
 治の文語体で書かれた設立主旨の要旨  
 を簡条書きでご紹介します。

\* 明治維新以来、百般の物事は全く  
 その趣が変わってしまった為、学業  
 は郷土で学び、文・武・農・商・  
 工芸など各自が好むものを選んで  
 新しい知識や良き方法を求めなが  
 ら、世の中の変化に対応し今日に  
 至っている。出郷することなく郷  
 里にとどまって実業や政務に専念  
 する者、殖財の事業や他の産業を  
 興したり、また東京へ遊学する者  
 が次第に多くなつた。

\* 近頃の世の中の形勢を良く観察す  
 ると、社会の上っ面は長足の進歩  
 を遂げているが、個々の事例を見  
 ると可とすることが出来ないこと  
 が多々ある。この様な状況を考え  
 る時、心が通じる者あればお互い  
 に提携し、在京在郷の方々と相携  
 えれば、故郷小諸の繁栄が期待で  
 きるだろう。

\* 凡そ人として父母を敬い慕わぬ者  
 はいない。今は様々な状況下にあ  
 るかも知れないが、大切なことは、  
 家族を愛し、隣人を思い、その上  
 郷里の人々を懐かしく思う愛郷心  
 である。これは愛国心があるが故  
 に萌えだす心情です。仮にも自分  
 を愛し郷土を愛する思いがあれば  
 奮って我が会に入会されたい。

小諸郷友会の設立趣旨はこの様に  
 謳っています。  
 明治時代と現代では時代環境が全く  
 異なりますが、今、日本も世界も、政  
 治・経済・社会など様々な分野で、過  
 去に経験したことない変化に襲われて  
 おり、この変わり様は明治維新にも劣

## 総会・懇親会次第

- 一、会長挨拶
- 一、議事
- ① 会則一部改定
- ② 役員改選
- ③ 会計報告
- ④ 会計監査報告
- 一、祝辞・来賓紹介
- 一、余興 オープエ独奏  
ソプラノ独唱
- 一、懇親会
- ① 県歌「信濃の国」斉唱
- ② 鏡開き
- ③ 乾杯
- ④ 開宴・歓談・歌唱(山  
口のり子)・福引
- 一、中締め
- 一、閉会の辞

来年の東京小諸会総会・懇親会は

十一月一日(土)如水会館二階スターホールで開催します

らない変化ではないかと思えます。長期の平和と豊かな物質文明を謳歌してきた日本の現代は、インターネットやケータイの普及拡大によって、ものの考え方というか、人の思考や生き方が根底から覆されていると言っても過言ではありません。

このような時代環境の中で、東京小諸会は新たな五十年に向かってスタートするにあたり、改めて、故郷の明治の先人に見習うことを痛感します。

これからの当会にとって大切なことは、家族愛・隣人愛・愛郷心を原点として、若い力を活かした会員の充実を図ることだと思います。その為には、役員の若返り・役員はじめ会員の二世に故郷の良さを知らしめ馴染ませる・在京小諸出身者をきめ細かく勧誘する・故郷の祭りごとを実感させる等々様々なことを積み重ねて、会員の増員を図り、伝統ある本会の繁栄に努力したいと考えます。

終りになりましたが、今年も総会・懇親会の開催にあたり、小諸市、信州味噌(株)、(株)三ツ和小諸そば事業部、常盤館、(株)香坂建設、三和シャッター工業(株)、コミー(株)、大塚酒造(株)、能美防災(株)、サッポロビール(株)、マンズワイン(株)、(有)エスポワール、(株)コトブキ並びに本会役員有志の方々にご協賛頂きました。記して厚く御礼申し上げます。

## 東京小諸会

### 平成25年度総会・懇親会にあたり

小諸市長 柳田 剛彦

東京小諸会平成25年度総会・懇親会が、大勢の会員の皆様はもとより、ご来賓各位のご出席のもとに盛大に開催されますこと、心よりお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、ふるさと小諸を離れ、お元気で活躍されておられますことに重ねてお慶びを申し上げますとともに、平素は、小諸市政の推進に温かいご支援、ご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。さて、昨年来の小諸市の動きについて、重要事業を中心に報告をさせていただきます。

まず、「新ごみ焼却施設の建設」につきまして、昨年、小諸市での単独建設を決断して以降、菱野区をはじめとする地元の皆様のご理解をいただきながら順調に事業が進んでおります。今年4月に設計・建設・運営を一体的に行う業者と経費が決まり、6月に契約を締結いたしました。11月からは、造成工事に着手し、完成は平成27年12月を予定しております。

もう一つの重要事業である、「小諸厚生総合病院の再構築と市庁舎、図書館等の整備」につきましては、昨年10月に現市庁舎

敷地一帯での再構築を決定し、11月には長野県厚生連並びに小諸厚生総合病院と「小諸厚生総合病院の移転新築及び運営等に関する基本協定書」を締結いたしました。多くの市民が集う場所であることから、ワークショップや市民懇話会などを通じて市民の皆様のご意見を取り入れながら今年4月には基本設計がまとまり、現在は実施設計を進めているところでございます。市庁舎と図書館等は、平成26年3月に着工し、平成27年6月の完成を予定しており、その後、現在の市庁舎を解体いたします。小諸厚生総合病院は、平成28年度から工事が始まり、一帯の整備が完了するのは、平成29年度を予定しております。皆様に親しまれ、「教育・文化の発祥の地」にふさわしいエリアとなるよう努めてまいりますので、ご協力をお願い申し上げます。

また、先週には、小諸商工会議所が創立100周年を迎え、記念式典と併せて新しい商工会議所会館の竣工式が行われました。新しい商工会議所会館は、小諸図書館跡地に浅間山をイメージした斬新なデザインで整備され、1階には小諸相生郵便局、2階には日本政策金融公庫小諸支店が入っております。

小諸市は、病院などの医療機関や市庁舎、図書館といった公共施設などの都市機能を集積して整備することにより、低炭素化による持続可能なまち、いわゆる「コンパクトシティ」のまちづくりを進めております。この「コンパクトシティ」によるまちづくりの推進にあたりましては、国土交通省の補助事業の第1号に認定されるなど、全国的にも注目を浴びているところでございます。その他の事業といたしましては、昨年12月に日本で6番目、世界で297番目となる「セーフコミュニティの国際認証」を取得いたしました。これは、事件・事故は、決して偶発的なものでなく予防できるといふ理念のもと、行政、地域、警察、家庭、学校などの関係機関が連携して取り組み、安全で安心して暮らすことができる「まち」を世界保健機構(WHO)の関係機関が認証する制度で、小諸市では、認証取得後も安全・安心のレベルの向上に向け、継続した取り組みを進めております。

私が入力しております「教育」につきましても、子どもは「小諸の宝」であるとの強い思いから、先人たちが築いた「小諸教育」「梅花教育」の復興を願い、今年度から保育園や小学校に体力の向上と脳の発達を高めるための「運動遊び事業」を導入いたしました。遊び感覚で体を動かすことにより、周りとのコミュニケーションも活発となり、「心」と「体」が育まれること

を期待しているところでございます。

また、小諸市では、現在、小諸厚生総合病院を中心にアサマ2000パークや周辺自治体が連携し、浅間山麓地域をエリアとした「浅間山麓高地トレッキング構想」を進めております。これは、浅間山麓の2,000メートル級の高地環境を活かして、「次世代を担う子どもたちからオリンピック選手、そして百歳長寿まで」を目標に、地域住民の健康増進から本格的なアスリートの育成を医学的見地からサポートしていくものでございます。先ごろ、2020年の東京オリンピック開催が決定したこともあり、都心からのアクセスの良さをアピールし、周辺の運動施設等を活用しながら、併せて「ナショナルトレーニングセンター」の指定もめざしてまいりたいと思っております。こうしたことにより、交流人口を増やし、小諸市の活性化につなげていければと、大きな夢をふくらませているところでございます。

この他にも、小諸の歴史や伝統、風情を伝える貴重な文化財を適正に保護、活用する事業や地域の資源を十分に活用し、生産・加工・販売が連携した6次産業化事業、未来を担う子どもたちのための子育て支援、教育環境充実のための事業などに引き続き力を入れてまいりたいと考えております。

最後に少々趣が変わった話題といたしまして、小諸に深い縁のある文豪島崎藤村先生の小説「家」が秋原北胤監督により映画

化され、今年5月から一般公開されました。すでに公開は終了しておりますが、小諸市立高濱虚子記念館や小諸病院、本町通りなど市内各所での撮影も行われ、馴染みある風景が映画の中に登場しておりますので、機会がございましたらご覧いただければと存じます。

皆様のふるさと、そして、私たちのまち小諸市は、徐々に冬の訪れを肌で感じるようになってまいりましたが、折をみて小諸にお越しいただき、再生に向けて日々変貌を遂げている小諸市の姿をご高覧賜りたく、お願いを申し上げます。

結びに、今後もふるさと小諸に温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の更なるご健勝、東京小諸会の限らない発展を心からご祈念申し上げます。平成25年度総会・懇親会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。



## 無駄の効用

東京小諸会副会長 小山 清吾

昭和19年7月、サイパン島が玉砕し米軍の手に陥ると日本各地に対する空襲も激しくなってきました。9月4日高濱虚子先生ご一家が小諸に移り住まれ、それから昭和22年10月25日、鎌倉へ帰られるまでの三年有余にわたる先生の小諸時代がはじまることになりました。

先生の住居は私の家の母屋を通り抜けて150米程上の所にありました。前栽を含めて200坪余の板塀で囲まれた土地にある南向きの日当たりの良い平屋建20坪程の家で、8畳、6畳、台所と幅45尺、長さ3間半の通し廊下という間取りで日当たりだけが良いのが取り柄の文字通り伏屋という感じでした。

先生は温暖な鎌倉からこられたこともあり晩秋の小諸の寒さに閉口されたようです。10月に入り寒さが身にしむ頃になると好きな径と言われたお好きな散歩からも遠ざかりご自身が「縁側散歩」ともいわれた長さ3間半の通し廊下を一日何回も往復されて運動不足の埋め合わせをされて居られました。

先生のお宅の北隣の小路を挟んで小山福太郎さんの老夫婦が同じ年頃ということもあり縁側に腰かけて四方山話をする様に変親しくなりました。日当の良い広い庭

があるからと野菜の種子を持って来ては、しばらく話し込んでゆく。この様子が「物种をくれて腰掛け話し込み」の句に残されております。

俳人の宇多喜代子さんは、この点について「こうした句にうかがえる虚子庵での暮らしが、いっこうに手挟でも窮屈でも不快でもなく、広々とした山川や野につながっていると感ぜられるのは、婆さんが座っていた「縁側」の力であったように思う。」と言われ更に「こんな話すでもなく話すという無駄や、さして生産的でもない縁側とか濡れ縁という無駄が少なくなったことをまたしてもさみしく思うのだ」（平成24年9月24日、日経紙朝刊文化欄）と述べておられる。

戦争が終わって9月には立子さん、晴子さん、章子さんのご家族の皆様が鎌倉に帰られたあと、22年10月25日まで三年有余にわたり小諸に残られたのは先生ご自身小諸での生活が心から気に入っておられたのであろうと思えます。

# 東京小諸会会則の一部改訂

会則は昭和三十八年の設立実施以来、時代に併せて部分改訂をして来ました。今回は、第五条（役員の種類・定数・任期）、第八条（役員職務）及び第十二条（会計年度）の三条について現実に即した部分改訂であります。新会則は次の通りです。

昭和三十八年三月二日実施  
昭和五十年九月十三日改訂  
昭和五十六年二月四日改訂  
昭和五十八年十一月五日改訂  
平成十九年十一月十日改訂

## 第一条（名称・事務所）

本会は、東京小諸会と称し、その事務所を会長又は担当役員事務所又は自宅に置く。

## 第二条（範囲）

本会は、東京都及びその周辺に在住する小諸市出身者とその関係者を以つて組織する。

## 第三条（目的）

本会は、会員相互の親睦を深め、その向上と郷土の発展並びに社会文化に貢献することを目的とする。

## 第四条（事業）

本会は、前条の目的を達成する為、次の行事を行う。

- ① 親睦会、講演会等の開催
- ② 郷土訪問旅行
- ③ その他本会の目的達成に必要なことと

## 第五条（役員の種類・定数・任期）

本会に次の役員を置き、その任期は二カ年とする。但し、重任を妨げない。

- ① 理事 十二名以上二十名以内
- ② 監事 三名以内

二、理事のうち一名を会長、その他若干名の副会長、常務理事を設けることができる。

## 第六条（役員を選出）

役員は総会に於いて選出する。

二、各役員は、予め役員会に於いて選考、推薦し、会長が総会出席者全員に図り総意に基き決定し、会長がこれを委嘱する。

## 第七条（役員補欠及び中間増員）

役員任期の中間に於いて、補欠又は増員の必要を認められた時は、前条の規定によらず役員会に於いて推薦し、会長の指名により便宜選任することができる。但し、その任期は定期改選時迄とする。

## 第八条（役員職務）

会長は本会を代表し、会務を統理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代理する。三、理事は、予算・決算その他重要事

項を審議し、会務の運営にあたりと共に第十四条に規定する事業の推進、支援にあたる。

四、理事の中から必要に応じて、会計担当、事務局長を任命することができる。

五、会計担当は、本会の経理を処理する。

六、監事は、随時本会の会計を監査し、総会に報告するものとする。

## 第九条（名誉会長等）

本会に名誉会長・顧問・相談役を置くことができる。名誉会長等は役員会に於いて推薦し、会長が委嘱する。名誉会長等は、重要事項に就き会長の諮問に應ずる。

## 第十条（総会及び役員会）

総会・役員会は会長が招集し、その議長となる。二、定期総会は毎年一回事業年度終了後三ヶ月以内に開催し、会務の報

告及び事業計画その他重要な事項を決議する。必要に応じて臨時総会を開くことができる。

三、総会の議事については、議事録を作成する。また、東京小諸会の会報に掲載する。

四、役員会は必要に応じて開催し、重要事項を審議する。

五、総会・役員会の決議は出席者の過半数の同意による。

## 第十一条（会費）

本会の経費は、会費・篤志寄付金その他の収入を以つてこれにあてる。

## 第十二条（会計年度）

本会の会計年度は、毎年九月一日に始まり翌年八月三十一日に終る。

## 第十三条（住所等変更の通知）

会員は、その氏名・住所・電話番号等を変更した時は、直ちに事務所に通知するものとする。

## 第十四条（部会）

本会は、その目的を充実に、且その達成を容易にするため、各出身地区、その他の部門別に部会を設けることができる。部会はその部長及びその他の役員を選任し、この会則に基き、別に規定を定めることができる。部会の事業はその都度、本会に報告するものとする。

## 第十五条（会則の改定）

本会の会則の改訂は、総会の決議による。

# 役員の改選

任期満了に伴う役員改選です。候補者は次の通りです。

東京小諸会役員候補者

(平成二十五年十月二十六日)

顧問	山岸喜昭	理事	須田武久
柳田剛彦	柳澤紀子	稲垣信克	柳澤紀子
清水清利	木俣美紀子	白鳥伍朗	白鳥伍朗
香坂勝	堀英毅	掛川国雄	掛川国雄
大西崇弘	白鳥裕子	鈴木裕子	鈴木裕子
渡辺静雄	市川源太郎	相談役	市川源太郎
岩崎忠男	鈴木清吾	相談役	鈴木清吾
北村尚巳	小山洋之介	相談役	小山洋之介
白鳥ひさじ	高橋昭平	相談役	高橋昭平
田澤雄二郎		相談役	
飯高盛龍		相談役	
小宮山栄		相談役	
小山平六		相談役	

## 平成24年度決算報告書

自平成24年1月1日  
至平成24年12月31日

(単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	329,251	総会関係費	932,515
会費収入	621,000	通信費・事務用品	70,710
広告収入	310,000	印刷費	131,250
祝儀収入	335,000	会費・会議費	114,240
雑収入	49	雑費	1,785
		次年繰越額	344,800
計	1,595,300	計	1,595,300

右記の通り平成24年度決算を報告します。  
平成25年3月30日

常務理事(会計) 岩崎忠男

以上の報告を監査したところ正確であると認めます。

監事 掛川国雄

鈴木裕子

## 小諸市の小学生達が 明治学院大で コーラスを披露

毎年十一月下旬に、港区白金台の明治学院大で行われる、クリスマスツリー点灯式に、五年前から小諸の小学生達数十名が招かれて、コーラスを披露しています。

今年は十一月二十二日夕方四時半から、水明小学校の児童が参加して、子供達の可愛い歌声が夕闇に点灯されるクリスマスツリーを彩ってくれます。見学は自由ですので、ご都合のよい方は是非ご参加ください。明治学院大の最寄り駅は、地下鉄南北線の白金高輪駅または白金台駅です。